

第21回幼年消防クラブ地区大会

宮城県 塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会

塩釜地区消防事務組合消防本部では、去る6月24日、塩竈市体育館において、財団法人日本防火協会との共催で「第21回幼年消防クラブ地区大会」を開催しました。

この大会には、管内の幼年消防クラブ員730名が参加し、職員手作りの(火・用・心)三つの神輿をクラブ員がワッショイ、ワッショイの掛け声とともに会場を担ぎ、オープニングをした後、クラブ員全員による遊戯や鼓笛演奏、更には、職員とクラブ員の先生方による火遊び防止の寸劇を行い、会場を大いに盛り上げ、最後にクラブ員全員が「火遊びはしません」の防火の誓いを行い盛会裏に終了しました。



気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会大会「防火のつどい」が6月25日、気仙沼市唐桑町の市保健福祉センター「燦さん館」で開催されました。一市二町の婦人防火クラブ会員など約400人が参加し、“火災などのない安全な地域社会づくり”を誓い合いました。

松園虎舞保存会による虎舞いと太鼓演奏がオープニングを飾り、三浦とみ子会長が「宮城県沖地震の発生が懸念されていますが、普段から自助・共助の意識を持って備えていれば被害は最小限に抑えられます。今後も関係機関と連携し、防災の輪を広げていきたい。」とあいさつし、優良婦人防火クラブ表彰などのあと、各市町の婦人防火クラブ連合会代表三人による意見発表がありました。



[▲ このページの上に戻る](#)

八女消防本部管内の幼年消防クラブ員は、7月7日に「防火たなばた」を行いました。

クラブ員は、短冊に願い事を書いたり、折り紙で天の川や彦星様・織姫様などをつくり、笹いっぱい飾り付けました。

短冊には、「火事がおきませんように!」、「火あそびはしません。」など防火の願い事でいっぱいとなりました。飾り付けが完成するとクラブ員は「わあー」という歓声とともに、「願い事が叶いますように!」と、空に願いを込めました。



▲ このページの上に戻る

「命の大切さ」夏季研修会

福岡県 八女消防本部

八女地区の各少年消防クラブでは、「命の大切さ」をテーマに各地で夏季研修会を開催しました。

研修会では、キャンプ場、河川などで大自然に親しみながらロープ・竹竿・ペットボトルなどを使用しての水難救助法や心肺蘇生法・搬送法など、災害現場で活用できる応急手当などを学びました。

クラブ員たちは、研修を通して自分たちの住むまちの美しさを再認識し、自然の中で「命の大切さ」について学び、楽しい夏休みの思い出をまたひとつ増やしました。



▲ このページの上に戻る

“ちびっ子消防士たち”が「歌や遊戯で火の用心」

愛媛県 宇和島市少年婦人防火委員会

7月7日(金)午前9時30分から12時30分まで、第8回宇和島地区幼年消防大会が南予文化会館大ホールにおいて開催されました。

会場には、宇和島地区管内の幼年消防クラブ員、婦人防火クラブ員、園関係者、消防関係者、一般参加者たち総員約1,300人が集い盛会のうちに始まりました。

当地区では、幼年消防クラブ員相互の連帯協調と幼年期におけ



る「火遊びはぜったいしません！」の防火安全教育を養うことを目的として3年ごとに幼年消防大会を開催しています。

大会では、幼年消防クラブ員たちが法被姿などで威勢よく、防火のちかい、合奏、遊戯、はしご操法などの演技を次々に披露して一生懸命に防火PRするとともに、各クラブの演技を見守る保護者たちから大きな拍手と喝采を浴びました。また、会場ロビーには住宅用火災警報器の設置義務化に伴い、住宅防火コーナーを設け、参加者等へ住宅用火災警報器の設置に関するパンフレット等を配布し、広く啓発を図りました。

大会を終えて、ちびっ子消防士たちの懸命でひたむきな防火演技に多くの人々が感銘を受けるとともに所期の目的が十分果たされました。また大会を通して、地域住民への防火思想が高揚されたものと確信いたしました。



▲ [このページの上に戻る](#)

7月27日(木)夏休みに入り、暑さも増してきました。そんな暑さにも負けず、元気いっぱいの小学生250名が「少年消防クラブ防火のつどい」に富山消防署へやってきました。

このつどいは毎年、楽しく火災予防について学んでもらおうと行っているものです。子どもたちも様々な体験ができると楽しみにしているつどいです。

「あれは何かな?」と梯子車、救急車、館内のあちらこちらを見渡し、興味津々の子どもたち。

放水体験、起震車試乗、梯子車試乗など様々な体験・見学の時間を設けています。梯子車試乗では、「こわ〜い」「こわ〜い」と声をだしている子もいました。また、実際にヘルメットをかぶり防火衣を着用しての放水、ホースより出る水の勢いを手に感じ的に描かれた炎を消そうと真剣な様子でした。うまく当てたときには「やったー」「やったー」と声をあげ無邪気に笑う姿が見られました。

ロープ渡りでは、ヘルメットを着けてロープにぶらさがり署員の補助を受けながら約10メートル先のゴールを目指しました。やっとのことで着いて一安心。

また、救助演技を見学したり、今回の各体験を通して、「消防士の仕事の大変さがよくわかった」「日ごろから災害に備えておくことが大事と思った」など防災についてさまざまな思いをもったようでした。

今回学んだ火災予防について参加していない友達、家族にも伝え、防火活動に役立ててほしいと思います。



[▲ このページの上に戻る](#)

知多中部広域事務組合消防本部は、愛知県の知多半島のほぼ中央に位置する半田市、阿久比町、武豊町、東浦町の1市3町を管轄する消防本部です。

当消防本部では、平成18年7月26日水曜日(半田市のクラブ員対象)27日木曜日(阿久比町、武豊町、東浦町のクラブ員対象)の両日に半田消防署一日入署を実施しました。

この半田消防署一日入署は、少年消防クラブ員に対して、消防についての関心を深めさせ、実践活動を通じて少年期から火災予防の知識と技術を培うとともに、防火意識の高揚及びクラブ員相互の親睦を図ることを目的として毎年実施しています。



救助資機材見学及び体験

1 実施内容

(1) 午前の部

- ア 入署式
- イ 防火映画の上映(こぎつねの消防隊)
- ウ 規律訓練、救急法の体験
- エ 通信指令室の説明及び見学
- オ 望楼見学及び記念写真撮影
- カ 車輛説明

(2) 午後の部

- ア 救助訓練見学及び救助資機材の体験
- イ 消防〇×クイズ
- ウ はしご車搭乗体験
- エ 放水体験
- オ 濃煙体験
- カ 地震体験
- キ 退署式

2 参加者

(1) 平成18年7月26日(水)

半田市の少年消防クラブ員78名
少年消防クラブ指導者2名

計80名

(2) 平成18年7月27日(木)

阿久比町、武豊町、東浦町の少年消防クラブ員83名
少年消防クラブ指導者3名

計86名

2日間合計166名



救急法体験(応急担架)



規律訓練



退署式終了証授与



はしご車搭乗体験

[▲ このページの上に戻る](#)

「少年消防クラブ員研修会」を実施

島根県 雲南消防本部

雲南防火委員会並びに雲南消防本部(会長 小林敏雄 雲南消防本部消防長)では、少年期における防火教育の一環として、クラブ員と消防職員、また、クラブ員同士のふれ合いにより消防への理解と関心を深め、集団行動を通して力を合わせることの素晴らしさや大切さ、人に迷惑をかけないといった社会性、協調性を養うことを目的とした「少年消防クラブ員研修会」を実施しました。

研修会は、雲南消防署で7月26日に開催し、179名のクラブ員が参加しました。

研修内容は、昼食用のカレーライス作りからスタートし、水消火器を使用した消火訓練、バケツリレーによる消火競争、消火栓を使用したの放水体験や救急法、起震車による地震体験、煙体験等を行いました。

参加したクラブ員は、他の小学校のクラブ員や消防職員と楽しく過ごし、消防への関心を高め、昼食は自分たちで作ったカレーライスを食べ、16時過ぎには修了証と参加記念品を手に消防署を後にしました。



[▲ このページの上に戻る](#)

伊賀南部少年消防クラブ合宿訓練

管内小学校10校の4年生から6年生の少年少女で組織する伊賀南部少年消防クラブが8月9日・10日の1泊2日の日程で三重県消防学校において合宿訓練を実施しました。初めて参加したクラブ員は、最初少し戸惑い気味でしたが、先輩クラブ員達にリードされ訓練が始まると真剣な表情で取り組んでいました。1日目は消防車の体験乗車、放水訓練、AFT(消火訓練装置)を使用しての消火訓練、救助訓練、プール水泳、夕食の後には、4班に分かれて自分達で話し合ったレクリエーションを行いました。入校中の初任科生と一緒に点呼を受け、消灯の後も興奮してなかなか寝付かれなかったクラブ員もいましたが、やがて寝息に変わっていました。2日目は6時15分に起床し、消防体操にランニング、体力向上運動、寮内清掃の後はしっかりと朝食を取り、訓練開始。迷路(煙)避難体験、消火器を使った消火訓練、救助袋での避難体験、その後、感想文にそれぞれの想いを綴りました。

訓練をやり遂げるためには「互いに助け合い、思いやり、協力し合う」。そうした集団生活の中でクラブ員達は、規律や節度を身に付け、一段と凛々しくなったように感じられました。また、「消防車に乗れてよかった。」「違う学校の友達がたくさんできた。」「参加してよかった。来年もまた来たい。」そんな言葉や、お礼の絵をもらったりと猛暑の中、指導に同行した指導者・事務局の疲れも一気に吹き飛びました。



救助訓練



体験乗車



消火体験



消火体験

[▶ このページの上に戻る](#)

平成18年7月29・30日の2日間、入間市消防少年団の宿泊研修を入間市青少年活動センターで実施しました。一日目は、キャンプ場内でロープを渡ったり登ったりと体力を必要とする体験をし、更に、基本結索、放水体験と盛りだくさん。

そして、夕方からは食事の準備(カレー)を全員で始めました。薪に火を入れるのもマッチやライターではなく、職員手作りの火おこし道具を使い、火種が出来たらシュロの木の皮に上手に着火しないと薪に火を付けられず食事が出来ないというサバイバル的難しさを体験しました。

何とか食事を済ませ、就寝は講堂でダンボールを使用して寝るスペースを自分で作成しました。



▲ [このページの上に戻る](#)

着衣水泳体験を実施

埼玉県 入間市消防本部

平成18年8月7日に入間市消防少年団は、市内の新久小学校のプールで着衣水泳体験を実施しました。

新久小学校の教諭3名が指導員で、服を着た状態で泳ぐ難しさを熱心に指導していました。

団員もクロールや平泳ぎで泳ぎ「着衣時に泳ぎやすいのはどっちかな」と全身で体験しました。また、溺れた人を岸から手を出して助けるときの姿勢についても体験し、引っ張られて一緒にプールに転落したりと貴重な経験となりました。





▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 平成18年度「防災の日」総合防災訓練等の実施](#)
- [2. 平成18年秋季全国火災予防運動に対する協力について](#)
- [3. 「救急業務高度化推進検討会」報告書の公表](#)
- [4. 愛知県婦人消防クラブ連絡協議会「防災フェア2006 in なごや」展示ブースに出展](#)
- [5. 平成18年度北陸・中部ブロック婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会](#)
- [6. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で行事を開催](#)
- [7. 地方からの便り](#)
- [8. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [9. 日本防火協会からのお知らせ](#)